

2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年11月9日

東

上場会社名 デンカ株式会社 上場取引所
 コード番号 4061 URL http://www.denka.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)山本 学
 問合せ先責任者 (役職名)コーポレートコミュニケーション部長 (氏名)福岡 智 (TEL)03(5290)5511
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 2020年12月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	160,302	△16.5	12,065	△21.4	12,291	△15.4	10,008	△7.8
2020年3月期第2四半期	191,953	△3.2	15,348	5.1	14,533	△2.9	10,852	△4.7

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 11,598百万円(51.1%) 2020年3月期第2四半期 7,674百万円(△26.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	116.06	—
2020年3月期第2四半期	125.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	498,092	259,882	51.6
2020年3月期	501,448	254,014	50.0

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 256,903百万円 2020年3月期 250,720百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	60.00	—	65.00	125.00
2021年3月期	—	60.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	65.00	125.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 業績予想の詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	350,000	△8.1	33,000	4.5	30,000	△0.1	22,000	△3.1	255.13

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 業績予想の詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	88,555,840株	2020年3月期	88,555,840株
2021年3月期2Q	2,333,880株	2020年3月期	2,307,067株
2021年3月期2Q	86,239,657株	2020年3月期2Q	86,647,969株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報)	10
3. 補足情報	12
2020年度 第2四半期決算概要	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が大きく制限され、個人消費や輸出が急速に減少しました。また、世界経済も、感染症の世界的な流行により景気が大きく下振れし、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言や各国の都市封鎖の解除後は、徐々に経済活動を再開してきているものの、足もとでは欧州などで感染症再拡大の動きがあり、先行きは不透明な状況が続いております。

このような経済環境のもと、当社グループは、企業理念“The Denka Value”を実現すべく、3つの成長ビジョン「スペシャリティーの融合体」「持続的成長」「健全な成長」を掲げ、2018年度より5か年の経営計画「Denka Value-Up」における2つの成長戦略「事業ポートフォリオの変革」と「革新的プロセスの導入」を推進し、業容の拡大と収益性向上に注力いたしました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、一部の電子・先端プロダクツ製品で販売数量が増加したものの、全体的には世界的な景気後退による需要減のため販売数量が減少しました。また、原材料価格の下落に応じた販売価格の見直しもあり、売上高は1,603億2百万円と前年同期に比べ316億50百万円(16.5%)の減収となりました。利益面では、営業利益は120億65百万円(前年同期比32億82百万円減、21.4%減益)、経常利益は122億91百万円(前年同期比22億42百万円減、15.4%減益)、親会社株主に帰属する四半期純利益は100億8百万円(前年同期比8億43百万円減、7.8%減益)となりました。

<エラストマー・機能樹脂部門>

当部門の売上高は545億56百万円と前年同期に比べ241億16百万円(30.7%)の減収となりました。

クロロプレンゴムの販売は、感染症拡大などによる世界経済低迷の影響を大きく受け、自動車産業を中心に全般的に生産活動が停滞したことから、前年を下回りました。また、スチレンモノマーやデンカシンガポール社のポリスチレン樹脂およびMS樹脂の販売は、原材料価格の下落に応じた販売価格の見直しを行ったことから減収となりました。

<インフラ・ソーシャルソリューション部門>

当部門の売上高は244億79百万円と前年同期に比べ24億69百万円(9.2%)の減収となりました。

農業・土木用途向けのコルゲート管の販売は堅調に推移しましたが、セメントや特殊混和材、肥料、耐火物・鉄鋼用材料の販売は、感染症拡大などの影響を受け前年を下回りました。

<電子・先端プロダクツ部門>

当部門の売上高は332億93百万円と前年同期に比べ2億43百万円(0.7%)の減収となりました。

球状アルミナはxEV関連を中心に販売数量が増加し、電子部品・半導体関連分野向け機能フィルムや球状溶融シリカファイバーは、5G関連やデータセンターの世界的な需要の拡大により堅調に推移しました。また、高純度導電性カーボンブラックや高信頼性放熱プレート“アルシンク”は概ね前年並となりましたが、金属アルミ基板ヒットプレートなどの自動車産業用製品の販売は前年を下回りました。

<生活・環境プロダクツ部門>

当部門の売上高は165億73百万円と前年同期に比べ19億81百万円(10.7%)の減収となりました。

食品包材用シートおよびその加工品の販売は、テイクアウト需要の増加により概ね堅調に推移しましたが、プラスチック雨どいおよび合繊かつら用原糸“トヨカロン”、工業用テープの販売は感染症拡大の影響を受け前年を下回りました。

<ライフイノベーション部門>

当部門の売上高は161億56百万円と前年同期に比べ11億58百万円(7.7%)の増収となりました。

インフルエンザワクチンは、出荷時期が早まったことから増収となりました。一方、試薬は、8月に新型コロナウイルスの抗原迅速診断キット“クイックナビ™-COVID19 Ag”の販売を開始しましたが、その他の検査試薬の販売は感染症拡大の影響で受診者数の減少や健康診断の実施を控える動きがあったことなどから、前年を下回りました。ま

た、感染症の患者を対象とした抗インフルエンザウイルス薬「アビガン[®]錠」の原料であるマロン酸ジエチルの出荷を行いました。

<その他部門>

当部門の売上高は152億44百万円と前年同期に比べ39億98百万円（20.8%）の減収となりました。

YKアクロス株式会社等の商社は取扱量が前年を下回りました。

（2）財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ33億56百万円減少の4,980億92百万円となりました。流動資産は、売上債権の減少などにより前連結会計年度末に比べ116億78百万円減少の1,867億74百万円となりました。固定資産は、有形固定資産の増加などにより前連結会計年度末に比べ83億22百万円増加の3,113億18百万円となりました。

負債は、仕入債務の減少などにより前連結会計年度末に比べ92億24百万円減少の2,382億10百万円となりました。

非支配株主持分を含めた純資産は前連結会計年度末に比べ58億68百万円増加して2,598億82百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の50.0%から51.6%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、以下のとおり2020年5月13日に公表いたしました2021年3月期通期連結業績予想を修正するとともに、未定としておりました2021年3月期期末配当予想を開示いたしました。詳細につきましては、本日公表しました「2021年3月期通期業績予想の修正および期末配当予想に関するお知らせ」をご参照下さい。

1. 業績予想の修正

2021年3月期 通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	360,000	31,000	29,000	21,000	243.48
今回修正予想（B）	350,000	33,000	30,000	22,000	255.13
増減額（B－A）	△10,000	2,000	1,000	1,000	
増減率（％）	△2.8%	6.5%	3.4%	4.8%	
（ご参考）前期連結実績（2020年3月期）	380,803	31,587	30,034	22,703	262.62

2. 配当予想について

2021年3月期 配当予想

	年間配当金（円）		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	60.00	—	—
今回修正予想	60.00	65.00	125.00
前 期 実 績（2020年3月期）	60.00	65.00	125.00

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,172	22,979
受取手形及び売掛金	85,637	76,610
商品及び製品	52,159	54,639
仕掛品	4,037	3,636
原材料及び貯蔵品	19,582	20,526
その他	8,156	8,656
貸倒引当金	△293	△274
流動資産合計	198,452	186,774
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	62,503	67,969
機械装置及び運搬具（純額）	69,789	69,321
工具、器具及び備品（純額）	4,146	4,423
土地	63,370	63,560
リース資産（純額）	2,260	2,044
建設仮勘定	29,745	29,611
有形固定資産合計	231,815	236,931
無形固定資産		
のれん	7,544	7,197
特許権	523	486
ソフトウェア	1,002	1,054
その他	2,737	2,658
無形固定資産合計	11,808	11,396
投資その他の資産		
投資有価証券	51,200	56,402
長期貸付金	178	169
繰延税金資産	3,160	1,926
その他	4,949	4,610
貸倒引当金	△117	△119
投資その他の資産合計	59,371	62,990
固定資産合計	302,995	311,318
資産合計	501,448	498,092

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,005	34,005
短期借入金	51,929	42,141
コマーシャル・ペーパー	9,000	25,000
1年内返済予定の長期借入金	10,010	4,507
未払法人税等	3,550	3,027
未払消費税等	1,431	170
賞与引当金	2,992	2,962
その他	38,888	33,679
流動負債合計	160,807	145,494
固定負債		
社債	37,000	37,000
長期借入金	26,400	31,867
繰延税金負債	3,245	3,402
再評価に係る繰延税金負債	8,403	8,403
退職給付に係る負債	7,874	8,422
株式給付引当金	58	69
その他	3,644	3,550
固定負債合計	86,626	92,715
負債合計	247,434	238,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	36,998	36,998
資本剰余金	49,365	49,412
利益剰余金	156,857	161,257
自己株式	△7,593	△7,671
株主資本合計	235,628	239,997
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,691	13,753
繰延ヘッジ損益	△551	△597
土地再評価差額金	10,259	10,259
為替換算調整勘定	△876	△1,773
退職給付に係る調整累計額	△4,429	△4,736
その他の包括利益累計額合計	15,092	16,906
非支配株主持分	3,294	2,979
純資産合計	254,014	259,882
負債純資産合計	501,448	498,092

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	191,953	160,302
売上原価	143,023	116,131
売上総利益	48,930	44,171
販売費及び一般管理費	33,582	32,106
営業利益	15,348	12,065
営業外収益		
受取利息	41	71
受取配当金	976	864
持分法による投資利益	347	921
為替差益	-	16
その他	324	575
営業外収益合計	1,690	2,450
営業外費用		
支払利息	447	402
固定資産処分損	556	588
操業休止等経費	317	580
為替差損	521	-
その他	661	652
営業外費用合計	2,504	2,224
経常利益	14,533	12,291
特別利益		
投資有価証券売却益	-	158
特別利益合計	-	158
特別損失		
事業整理損	596	-
合併関連費用	-	252
特別損失合計	596	252
税金等調整前四半期純利益	13,937	12,197
法人税、住民税及び事業税	3,099	2,453
四半期純利益	10,838	9,744
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△13	△264
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,852	10,008

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	10,838	9,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,633	3,472
為替換算調整勘定	△1,538	△920
退職給付に係る調整額	237	△306
持分法適用会社に対する持分相当額	△229	△391
その他の包括利益合計	△3,164	1,854
四半期包括利益	7,674	11,598
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,751	11,822
非支配株主に係る四半期包括利益	△77	△224

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	13,937	12,197
減価償却費	10,768	11,238
のれん償却額	259	243
賞与引当金の増減額 (△は減少)	306	△27
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△216	105
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	63	△9
受取利息及び受取配当金	△1,017	△936
支払利息	447	402
持分法による投資損益 (△は益)	△347	△921
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△158
固定資産除売却損益 (△は益)	100	156
事業整理損	596	-
売上債権の増減額 (△は増加)	5,113	8,669
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,780	△3,248
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,802	△8,909
その他	△467	△4,513
小計	18,961	14,288
利息及び配当金の受取額	2,057	1,167
利息の支払額	△445	△401
法人税等の支払額	△3,186	△2,893
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,385	12,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,139	△18,827
有形固定資産の売却による収入	2	13
無形固定資産の取得による支出	△503	△316
投資有価証券の取得による支出	△2,727	△48
投資有価証券の売却による収入	-	204
その他	59	75
投資活動によるキャッシュ・フロー	△22,308	△18,899
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	16,583	6,404
長期借入れによる収入	-	10,000
長期借入金の返済による支出	△5,034	△10,005
自己株式の取得による支出	△2,104	△78
配当金の支払額	△5,219	△5,608
非支配株主への配当金の支払額	△21	△25
その他	7	△9
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,211	678
現金及び現金同等物に係る換算差額	△217	△132
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△928	△6,192
現金及び現金同等物の期首残高	13,889	29,170
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	209	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,170	22,978

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・ソー シャルソ リユーシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	ライフイ ノベーション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	78,672	26,948	33,536	18,554	14,998	172,710	19,243	191,953	-	191,953
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	98	26	-	-	-	125	3,513	3,638	(3,638)	-
計	78,771	26,975	33,536	18,554	14,998	172,835	22,756	195,592	(3,638)	191,953
セグメント利益 又は損失(△)	6,851	267	5,775	△213	2,499	15,181	239	15,420	(72)	15,348

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△72百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	110,715	53,716	27,521	81,238	191,953
連結売上高に占める割合(%)	57.7	28.0	14.3	42.3	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	エラスト マー・機 能樹脂	インフ ラ・ソー シャルソ リユーシ ョン	電子・先 端プロダ クツ	生活・環 境プロダ クツ	ライフイ ノベーション	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	54,556	24,479	33,293	16,573	16,156	145,058	15,244	160,302	—	160,302
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	93	14	—	—	—	107	2,780	2,888	(2,888)	—
計	54,649	24,493	33,293	16,573	16,156	145,166	18,024	163,191	(2,888)	160,302
セグメント利益	2,081	170	6,573	492	2,429	11,746	246	11,993	72	12,065

(注) 1. 「その他事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、プラントエンジニアリング事業、商社事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額72百万円は、セグメント間取引消去によるものです。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 地域ごとの売上高に関する情報

(単位：百万円)

	日本	海外			合計
		アジア	その他	計	
売上高	97,109	42,365	20,828	63,193	160,302
連結売上高に占める割合 (%)	60.6	26.4	13.0	39.4	100.0

(注) 売上高は顧客の所在地を基盤とし、国又は地域に分類しております。

2020年度 第2四半期決算概要

2020年11月9日
デンカ株式会社

1. 業績

(単位:億円)

	2020年度 第2四半期実績 (4-9月)	2019年度 第2四半期実績 (4-9月)	増 減	2020年度 通期予想 (4-3月)	2019年度 通期実績 (4-3月)
売 上 高	1,603	1,920	△ 317	3,500	3,808
営 業 利 益	121	153	△ 33	330	316
経 常 利 益	123	145	△ 22	300	300
親会社株主に帰属する当期純利益	100	109	△ 8	220	227

2. 総括(前年同期比)

・当社グループは、企業理念“The Denka Value”を実現すべく、3つの成長ビジョン「スペシャリティーの融合体」「持続的成長」「健全な成長」を掲げ、2018年度より5か年の経営計画「Denka Value-Up」における2つの成長戦略「事業ポートフォリオの変革」と「革新的プロセスの導入」を推進し、業容の拡大と収益性向上に注力いたしました。

・当第2四半期は、原材料価格下落に応じたスチレン系製品の販売価格を改訂したことに加え、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、一部の主要製品で低調な出荷となりました。このため、売上高は317億円減収の1,603億円(前年同期比16.5%減)となりました。

利益面においても、感染症の影響により、クロロプレンゴムや検査試薬など一部の主要製品において、当初の想定を上回る影響がありました。一方で、xEV関連を中心に球状アルミナの出荷が好調に推移し、5G関連やデータセンター需要の世界的な拡大により電子部品・半導体搬送用部材の高機能フィルム、半導体封止材向け溶融シリカフィラーなどの半導体関連製品の出荷が前年を上回るとともに、インフルエンザワクチンの出荷時期が早まりました。また、新型コロナウイルス抗原迅速診断キット“クイックナビ™-COVID19Ag”の販売を8月に開始しております。加えて、本社費・工場固定費の減少も寄与しました。

以上の結果から、営業利益は前年に比べて33億円減益の121億円となりました(同21.4%減)。経常利益は123億円(同15.4%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は100億円(同7.8%減)と、それぞれ前年比減益となりました。

・第3四半期以降は、新型コロナウイルスの影響を受けたクロロプレンゴムなど一部主要製品の需要が回復基調にあるものの、通期では販売が当初予想を下回る見通しです。その一方で、抗原迅速診断キットをはじめとしたスペシャリティー製品の伸長ならびに需要回復やコストダウンなどを織り込み、通期の予想営業利益は前年度を上回る330億円を見込みます。

3. 参考数値・前提

(単位:億円)

	2020年度 第2四半期実績	2019年度 第2四半期実績	増 減	2020年度 通期予想	2019年度 通期実績
投 資	171	189	△ 18	450	369
減 価 償 却 費	115	110	4	230	225
研 究 開 発 費	74	73	2	160	150
有利子負債残高	1,405	1,233	172	1,410	1,343

	2020年度 第2四半期実績	2019年度 第2四半期実績
為替レート [円/\$]	106.8	109.2
国産ナフサ [円/k]	28,250	42,800

4.セグメント別状況(前年同期比)

- ・エラストマー・機能樹脂部門は、TVやモニターの導光板用途などでMS樹脂の販売は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、自動車産業を中心に全般的に生産活動が停滞したことから、クロロプレンゴムの販売数量が前年を下回り、大幅な減益となりました。
第3四半期以降は、クロロプレンゴムの需要は回復基調ですが、前年比では通期で減益の見通しです。
- ・インフラ・ソーシャルソリューション部門は、改定した価格の維持が寄与しましたが、感染症の影響により、セメントや特殊混和材、肥料、耐火物・鉄鋼用材料の販売数量が前年を下回ったことなどにより減益となりました。
第3四半期以降も、改定した価格の維持に努め、通期では前年比増益を目指します。
- ・電子・先端プロダクツ部門は、5G関連やデータセンターの世界的な需要拡大で堅調な電子部品・半導体搬送用部材の高機能フィルムや半導体封止材向け溶融シリカファイバー、またxEV関連の球状アルミナの販売が前年を上回り、増益となりました。
第3四半期以降も、xEV関連製品の需要の伸長が見込まれることから、通期では前年比増益の見通しです。
- ・生活・環境プロダクツ部門は、感染症の影響などにより、プラスチック雨どいおよび合繊かつら用原糸“トヨカロン”、工業用テープの販売数量は前年を下回りましたが、テイクアウト需要の増加により、食品包材用シートおよびその加工品の販売は概ね堅調に推移し、原材料価格の下落や固定費削減が寄与したことなどにより、前年比増益となりました。
第3四半期以降も、同じような状況が続く見通しであることから、通期では前年比増益の見通しです。
- ・ライフイノベーション部門は、感染症拡大の影響で、検査件数の減少や健康診断の実施を控える動きがあったことなどから、検査試薬の販売が前年を下回りました。また研究開発費などの先行投資は増加しました。その一方、インフルエンザワクチンは出荷時期が早まったことから販売が前年を上回り、加えて、8月に新型コロナウイルス抗原迅速診断キット“クイックナビ™ -COVID19 Ag”の販売を開始したことで、第2四半期の営業利益は、概ね前年並みとなりました。
第3四半期以降は、インフルエンザワクチンの販売は通期で前年並みを見込んでおり、新型コロナウイルス抗原迅速診断キットなどの寄与を織込んだ結果、前年比増益の見通しです。

(単位:億円)

連結売上高・営業利益(実績・予想)		2020年度 第2四半期実績	2019年度 第2四半期実績	増 減	2020年度 通期予想	2019年度 通期実績
エラストマー・ 機能樹脂	売上高	546	787	△ 241	1,150	1,493
	営業利益	21	69	△ 48	30	109
インフラ・ソーシャル ソリューション	売上高	245	269	△ 25	520	548
	営業利益	2	3	△ 1	5	3
電子・先端 プロダクツ	売上高	333	335	△ 2	700	680
	営業利益	66	58	8	130	124
生活・環境 プロダクツ	売上高	166	186	△ 20	330	370
	営業利益	5	△ 2	7	10	1
ライフ イノベーション	売上高	162	150	12	460	355
	営業利益	24	25	△ 1	150	70
その他 消去差	売上高	152	192	△ 40	340	362
	営業利益	3	2	2	5	9
合 計	売上高	1,603	1,920	△ 317	3,500	3,808
	営業利益	121	153	△ 33	330	316

連結売上高増減	売 上 高				
	2020年度 第2四半期実績	2019年度 第2四半期実績	増 減	増 減	
				販売価格差	数量差
エラストマー・機能樹脂	546	787	△ 241	△ 119	△ 122
インフラ・ソーシャルソリューション	245	269	△ 25	2	△ 27
電子・先端プロダクツ	333	335	△ 2	△ 5	2
生活・環境プロダクツ	166	186	△ 20	△ 5	△ 14
ライフイノベーション	162	150	12	△ 1	13
その他	152	192	△ 40	-	△ 40
合 計	1,603	1,920	△ 317	△ 128	△ 188

連結営業利益増減	営 業 利 益					
	2020年度 第2四半期実績	2019年度 第2四半期実績	増 減	増 減		
				販売価格差	数量差	コスト差等
エラストマー・機能樹脂	21	69	△ 48	△ 119	△ 57	128
インフラ・ソーシャルソリューション	2	3	△ 1	2	△ 7	4
電子・先端プロダクツ	66	58	8	△ 5	6	7
生活・環境プロダクツ	5	△ 2	7	△ 5	△ 6	19
ライフイノベーション	24	25	△ 1	△ 1	12	△ 11
その他、消去差	3	2	2	-	1	0
合 計	121	153	△ 33	△ 128	△ 52	147